

放送大学学園平成26年度第1回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成26年7月4日(金) 放送大学東京文京学習センター 会議室
委員	委員 関口 一材 (放送大学学園・監事) 委員 清水 幹裕 (放送大学学園・監事) 委員 和田 義博 (和田義博会計事務所・公認会計士)
委員長	委員の互選により関口委員が委員長に決定
審議対象期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日
審議事項	1. 平成25年度契約状況及び随意契約見直し状況について 2. 1者応札の要因の分析と改善方策について 3. 内閣府から契約の競争性について自主的な改善を求められたことについての対応状況について 4. テレビ特別講義の番組制作に係る契約への試行的な競争の導入について
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回答等
<p>1. 平成25年度契約状況及び随意契約見直し状況について</p> <p>企画競争や総合評価落札方式による競争を行う場合は、契約の透明性等を確保するため、提案書等の審査・評価を行う委員については、監事や外部委員を含めて選定することが望ましいのではないか。</p>	<p>特殊案件が多いため、これまでは外部委員等を入れていなかったが、委員の選定を行うに当たっては、今後、ご指摘を踏まえ、十分留意して対応して参りたい。</p>
<p>2. 1者応札の要因の分析と改善方策</p> <p>1者応札の要因の分析のため、学園が実施している業者に対するアンケート調査については、応札しなかった業者だけではなく応札した業者からも意見を聞くなど熱心に取り組んでいる点を評価する。</p> <p>1者応札を改善するため、業者に対してホームページへの掲載と併せてメールを活用して入札情報を周知するなど、より積極的な取組を行うべきではないか。</p>	<p>入札情報の業者に対する周知については、公平性に配慮しつつ、その実施について検討して参りたい。</p>
<p>3. 内閣府から契約の競争性について自主的な改善を求められたことについての対応状況について</p> <p>内閣府から契約の競争性について、自主的な改善を求められたことを受け、学園としてどのように対応しているのか。</p>	<p>内閣府から改善を求められた事項については、入札説明書等のホームページへの公開、入札公告期間の拡大、入札説明会の開催等、所要の改善策を講じて契約の競争性について改善を図ったところである。</p> <p>また、学園における契約の一層の競争性の向上を図る観点から、改善を求められた契約以外の一般競争入札を行う契約全件を対象として、原則として、仕様書をホームページに公開するなどの取組を行っている。</p> <p>本件については、今後、内閣府によるフォローアップが予定されていることから、後日、本委員会において、その結果等について審議していただきたいと考えている。</p>
<p>4. テレビ特別講義の番組制作に係る契約への試行的な競争の導入について</p> <p>企画競争を実施したとのことだが、提案書等については、各委員はどのような観点から審査・評価したのか。</p>	<p>各委員は、審査基準に基づき、番組の制作能力、提案書の企画内容等について審査・評価している。</p> <p>(以上)</p>